

東北地方の面積・人口等

「本格的な人口減少社会の始まり。少子高齢化の進展」

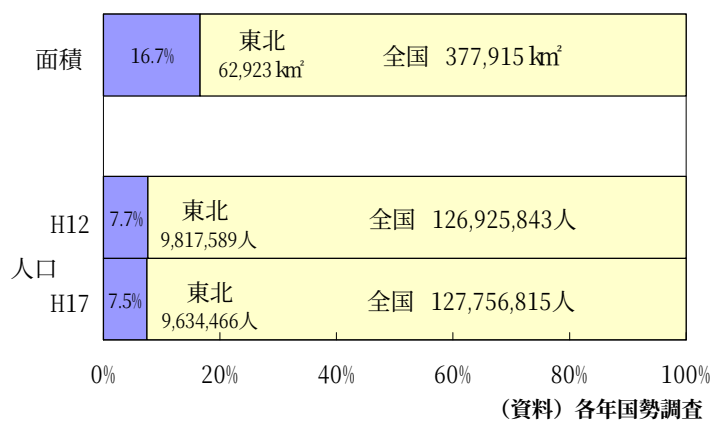
○面積・人口：

- ・面積は、約6万3千km<sup>2</sup>で全国の約17%。人口は、平成17年10月現在、約963万人で全国の7.5%。(図表1-1)
- ・平成7年をピークに人口減少が始まっているが、平成17年の国勢調査によると、予測よりも早いペースで人口減少が進展。(図表1-2)
- ・各県の人口も減少。各市町村の人口については、仙台、盛岡、福島、郡山等の大都市周辺部以外は減少傾向。また、10万人以上の都市についても、東北管内の14市のうち8市で人口減少が起きている。(図表1-3、4、5)

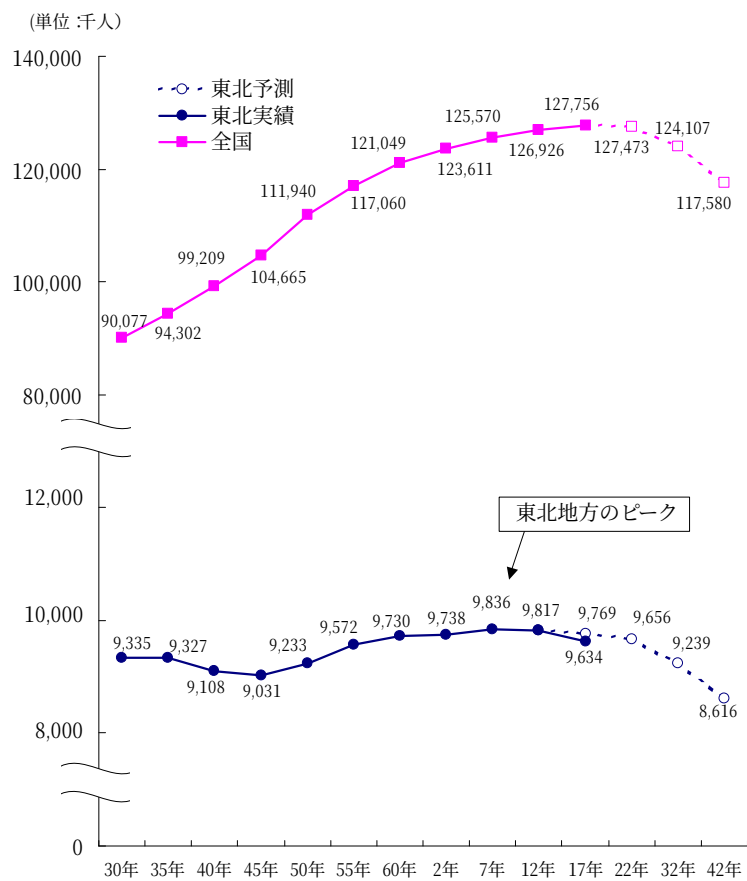
○少子高齢化：

- ・少子高齢化が進展し、今後も全国よりも高い割合で高齢化が進展していくことが予測されている。(図表1-6)

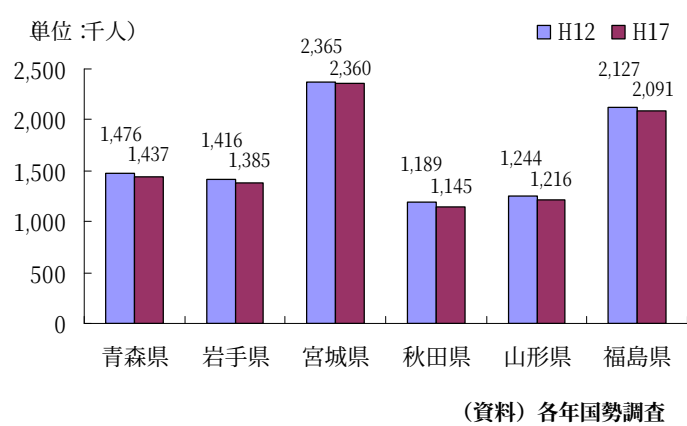
【図表1-1 面積及び人口（全国比）】



【図表1-2 人口予測】

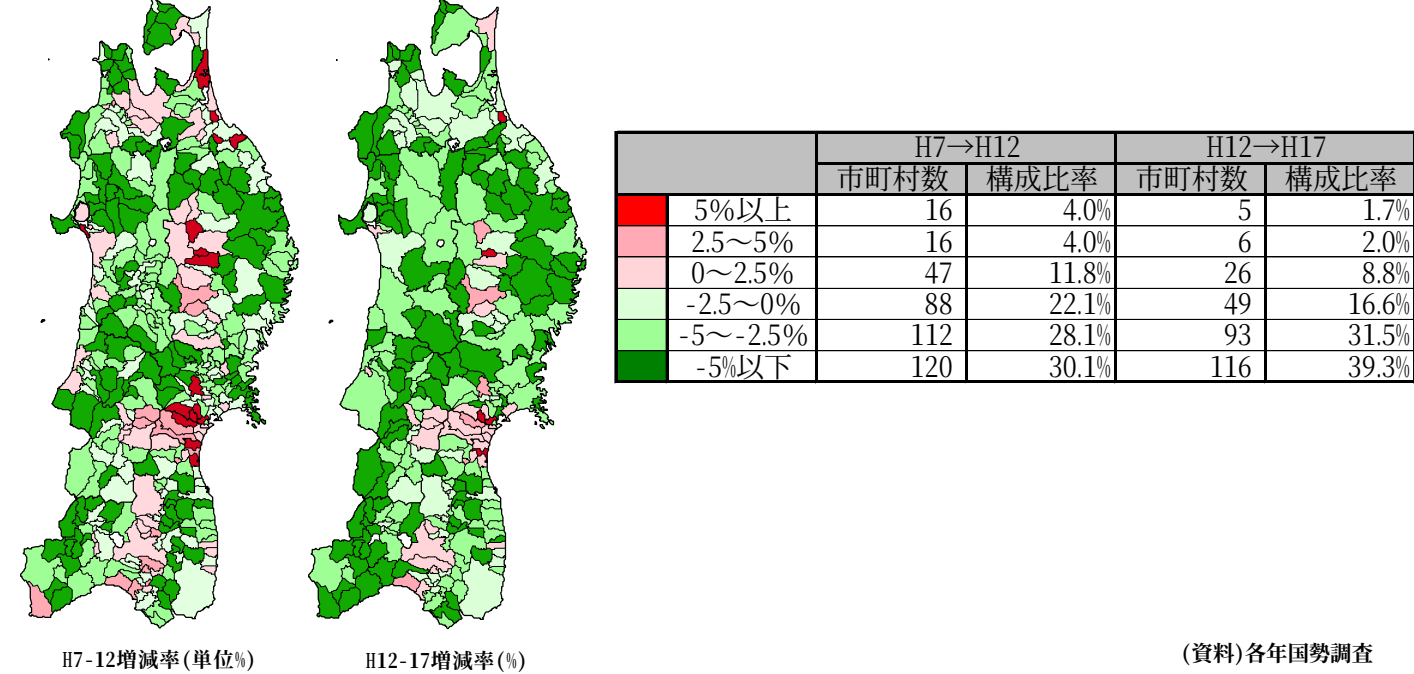


【図表1-3 県別人口】



（資料）国立社会保障・人口問題研究所  
都道府県の将来推計人口（平成14年3月）  
平成17年国勢調査

【図表1-4 各市町村の人口増減状況】



（資料）各年国勢調査

【図表1-5 人口10万人以上の都市の人口】

|     |       | 平成 7年   |     | 平成 12年    |     | 平成 17年    |     |
|-----|-------|---------|-----|-----------|-----|-----------|-----|
| 県名  | 市名    | 人口      | 指数  | 人口        | 指数  | 人口        | 指数  |
| 青森県 | 青森市   | 314,917 | 100 | 318,732   | 101 | 311,492   | 99  |
|     | 弘前市   | 177,972 | 100 | 177,086   | 100 | 173,227   | 97  |
|     | 八戸市   | 249,358 | 100 | 248,608   | 100 | 244,678   | 98  |
| 岩手県 | 盛岡市   | 286,478 | 100 | 288,843   | 101 | 287,186   | 100 |
| 宮城県 | 仙台市   | 971,297 | 100 | 1,008,130 | 104 | 1,024,947 | 106 |
|     | 石巻市   | 178,923 | 100 | 174,778   | 98  | 167,327   | 94  |
| 秋田県 | 秋田市   | 331,597 | 100 | 336,646   | 102 | 333,047   | 100 |
|     | 横手市   | 112,600 | 100 | 109,004   | 97  | 103,654   | 92  |
| 山形県 | 山形市   | 254,488 | 100 | 255,369   | 100 | 255,959   | 101 |
|     | 鶴岡市   | 149,509 | 100 | 147,546   | 99  | 142,381   | 95  |
|     | 酒田市   | 101,230 | 100 | 101,311   | 100 | 98,278    | 97  |
| 福島県 | 福島市   | 285,754 | 100 | 291,121   | 102 | 290,867   | 102 |
|     | 会津若松市 | 127,292 | 100 | 125,805   | 99  | 122,261   | 96  |
|     | 郡山市   | 326,833 | 100 | 334,824   | 102 | 338,830   | 104 |
|     | いわき市  | 360,598 | 100 | 360,138   | 100 | 354,403   | 98  |

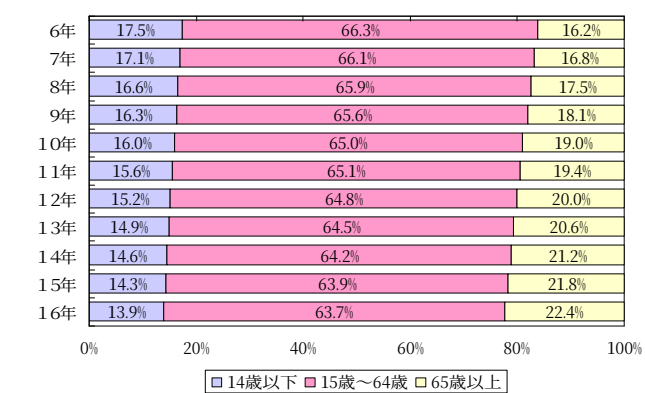
注)平成17年10月1日までに合併した市については、平成7年、12年の人口を合併対象の市町村の合計として出している

- ・青森市：青森市、浪岡町の合計
- ・八戸市：八戸市、南郷町の合計
- ・石巻市：石巻市、河北町、雄勝町、河南町、桃生町、北上町、牡鹿町の合計
- ・秋田市：秋田市、河辺町、雄和町の合計
- ・横手市：横手市、増田町、平鹿町、雄物川町、大森町、十字町、山内村、大雄村の合計
- ・鶴岡市：鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、温海町の合計
- ・会津若松市：会津若松市、北会津村の合計

（資料）各年国勢調査

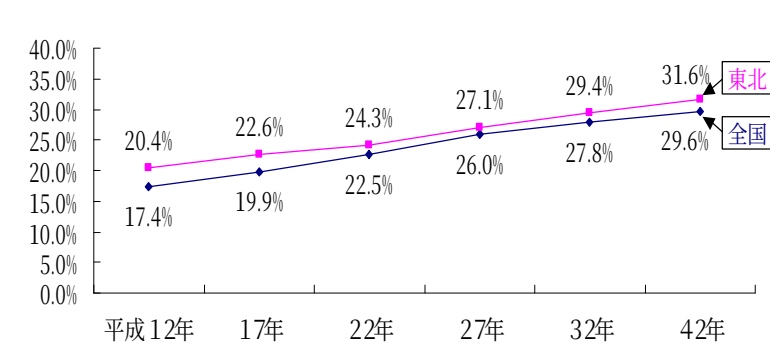
【図表1-6 少子高齢化の進展の状況】

○年齢階層別人口の構成比推移（東北全体）



（資料）各年住民基本台帳

○高齢化率の将来予測（東北全体）



（資料）国立社会保障・人口問題研究所 都道府県の将来推計人口（平成14年3月推計）

# 旅客輸送の動向

「自動車への強い依存傾向、乗合バス・民鉄・タクシー等公共交通機関利用の減少」

## 【全体傾向】

○自動車分担率が非常に高く、また自家用車旅客輸送人員の増加傾向も継続している。(図表2-1)

## 【広域流動】

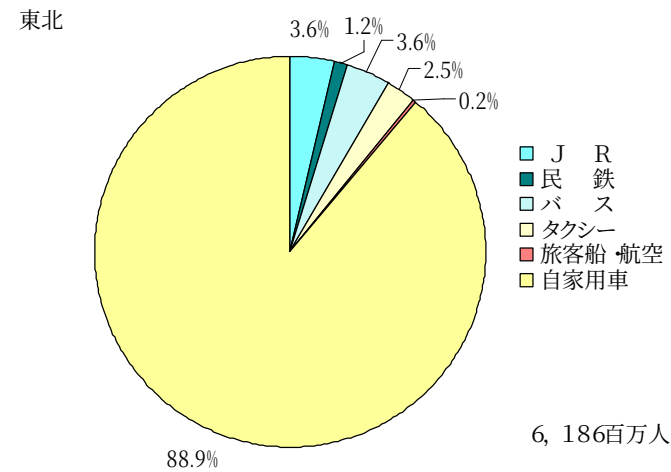
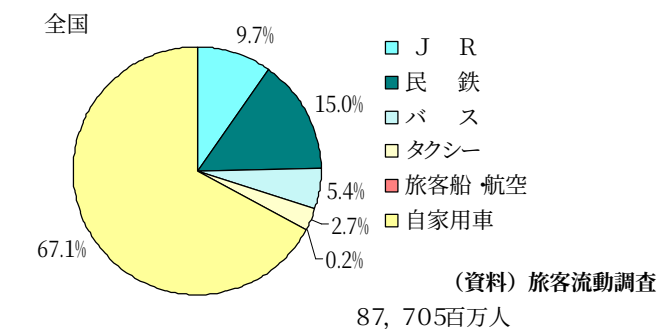
○鉄道：全体として、輸送人員は横ばいから減少傾向。一方、新幹線では輸送人員は増加しているが、その増加率は低下傾向にある。(図表2-2)

○高速バス：系統数、輸送人員ともに着実に増加している。(図表2-3)

○航空：国内線、国際線ともに輸送人員が近年横ばいから減少傾向にある。一方、国内線、国際線とも航空ネットワークが拡充されている。(図表2-4)

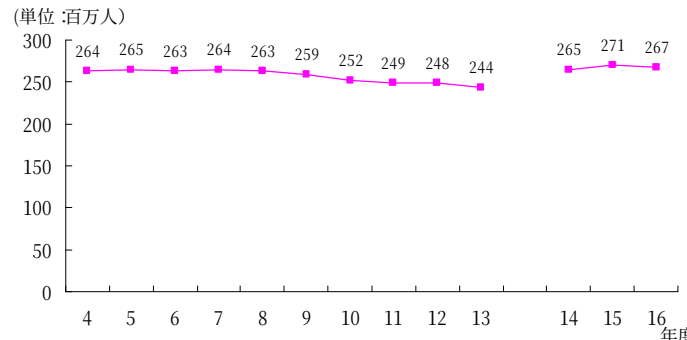
## 【図表2-1 旅客輸送（東北全般）】

### ○機関別分担率（平成15年）



## 【図表2-2 鉄道】

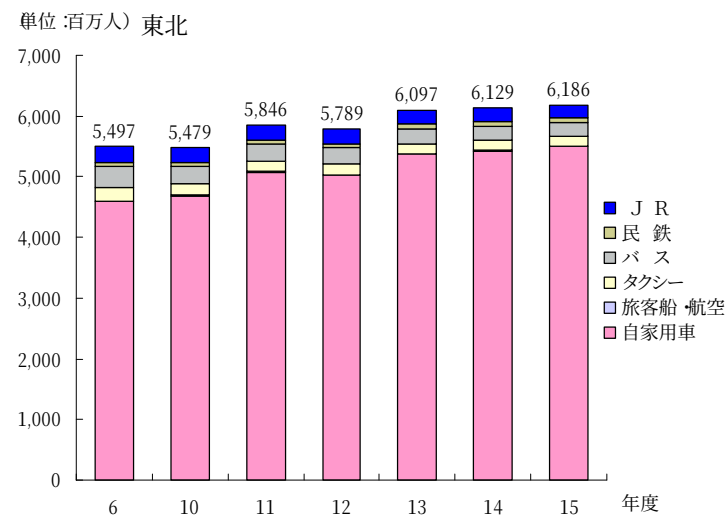
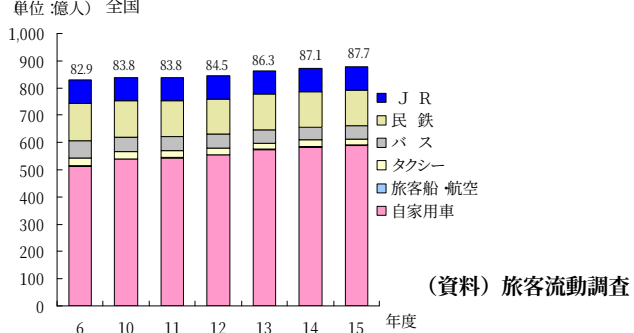
### ○鉄道輸送人員の推移



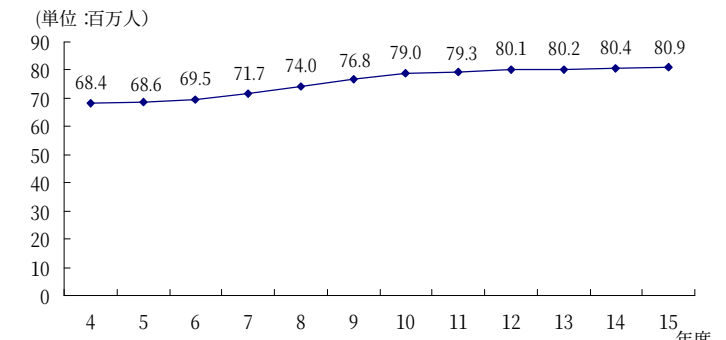
注）平成13年度までは管内4県の合計値、平成14年度以降は6県の合計値となっている

（資料）鉄道輸送統計年報

### ○輸送人員の推移



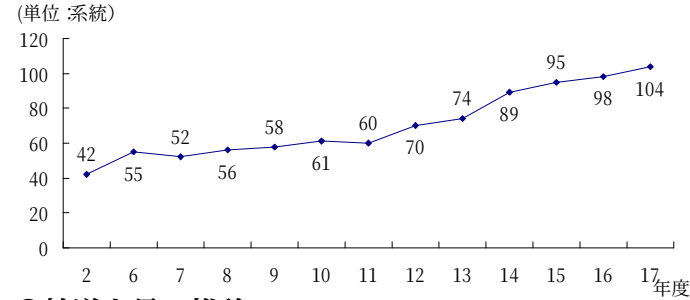
### ○東北新幹線輸送人員の推移



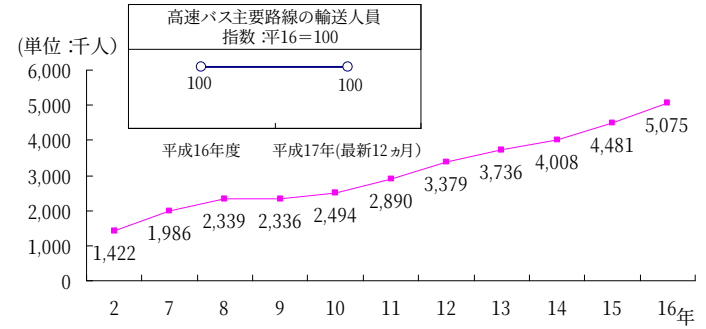
（資料）数字で見る鉄道

## 【図表2-3 高速バス】

### ○系統数の推移

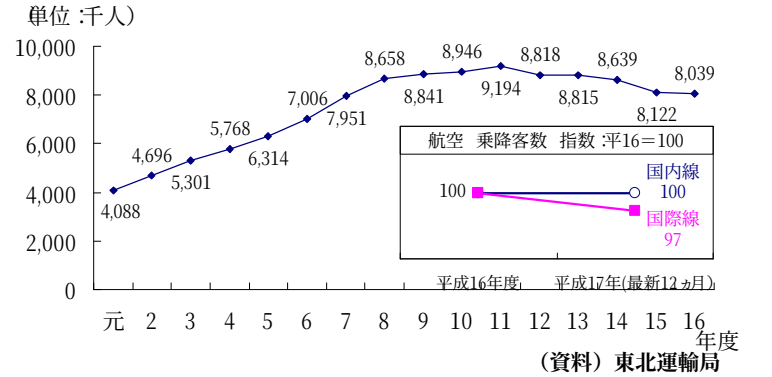


### ○輸送人員の推移

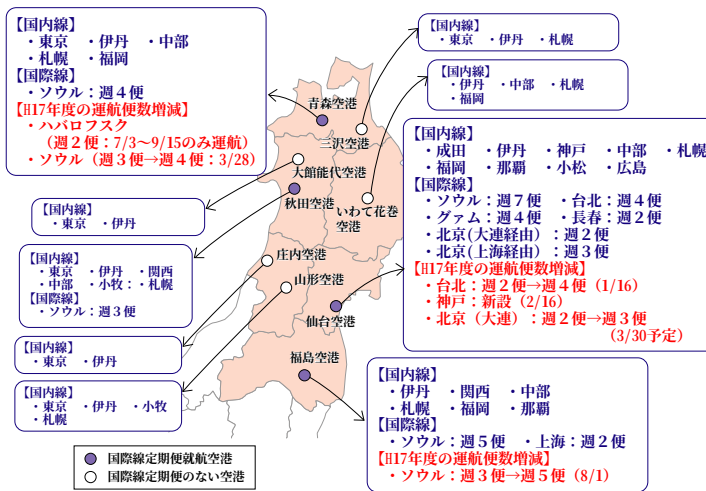


## 【図表2-4 航空】

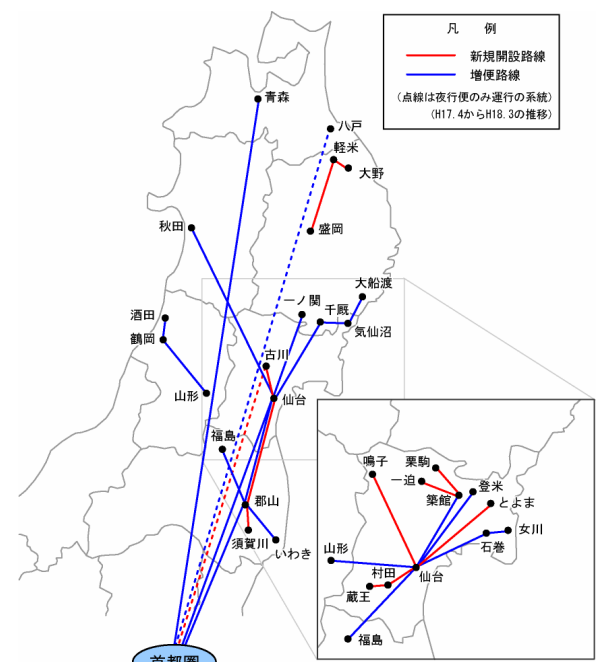
### ○東北地方の空港利用者数の推移



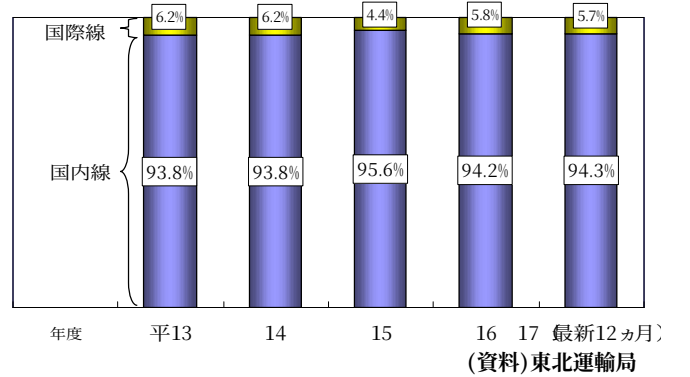
### ○平成17年度の航空ネットワークの変化



### ○新規開設及び、増便路線



### ○国内線・国際線利用者構成比の推移



### ○平成17年度各空港からの国際チャーター便利用者数

|       | 平成16年度 |  | 平成17年度 | 17年度の主な運航先   |  |
|-------|--------|--|--------|--------------|--|
| 青森    | 20,168 |  | 22,580 | 台湾・韓国・ハワイ・中国 |  |
| 三沢    | 0      |  | 0      |              |  |
| いわて花巻 | 13,903 |  | 18,041 | 台湾・ハワイ・中国・香港 |  |
| 仙台    | 26,457 |  | 22,133 | ハワイ・香港・タイ    |  |
| 秋田    | 11,285 |  | 13,067 | 台湾・中国・カンボジア  |  |
| 大館能代  | 0      |  | 0      |              |  |
| 山形    | 1,523  |  | 2,101  | 台湾・韓国・タイ     |  |
| 庄内    | 1,344  |  | 798    | 中国・韓国        |  |
| 福島    | 4,960  |  | 6,068  | 台湾・中国・韓国・グアム |  |

注）平成16年度は年度合計値、平成17年度は花巻空港、山形空港、庄内空港については2月末まで、その他の空港は1月末までの実績

（資料）空港管理事務所・空港ビル会社

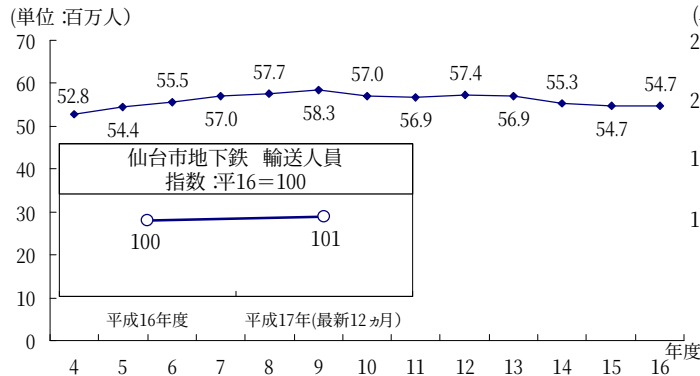


【域内流動】

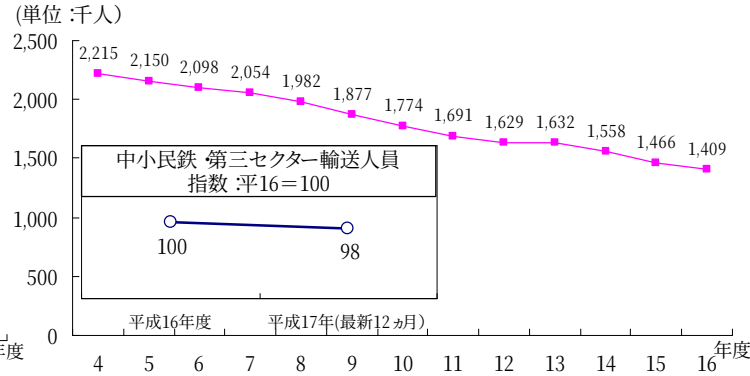
- 民鉄：仙台市営地下鉄は横ばいだが、その他民鉄では輸送人員の減少傾向が続いている。(図表2－5)
- 乗合バス：全体的には、年々輸送人員の減少が続いており、平成17年には半数以上の市町村でバス路線の休廃止がみられる。また、平成16年からの1年間で廃止代替バスの混在する市町村が7%増加している。(図表2－6)
- タクシー：乗合バス同様に、輸送人員の減少傾向が続いている。(図表2－7)
- 自動車保有台数：自家用車台数は現在もなお、増加傾向にある。(図表2－8)

【図表2－5 仙台市営地下鉄・民鉄】

○仙台市営地下鉄輸送人員の推移

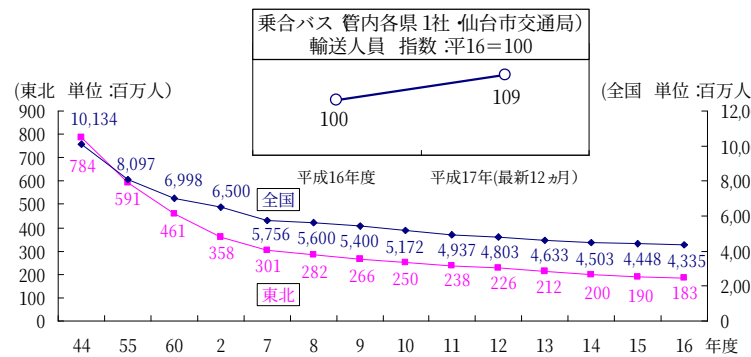


○民鉄輸送人員の推移



【図表2－6 乗合バス】

○乗合バス輸送人員の推移

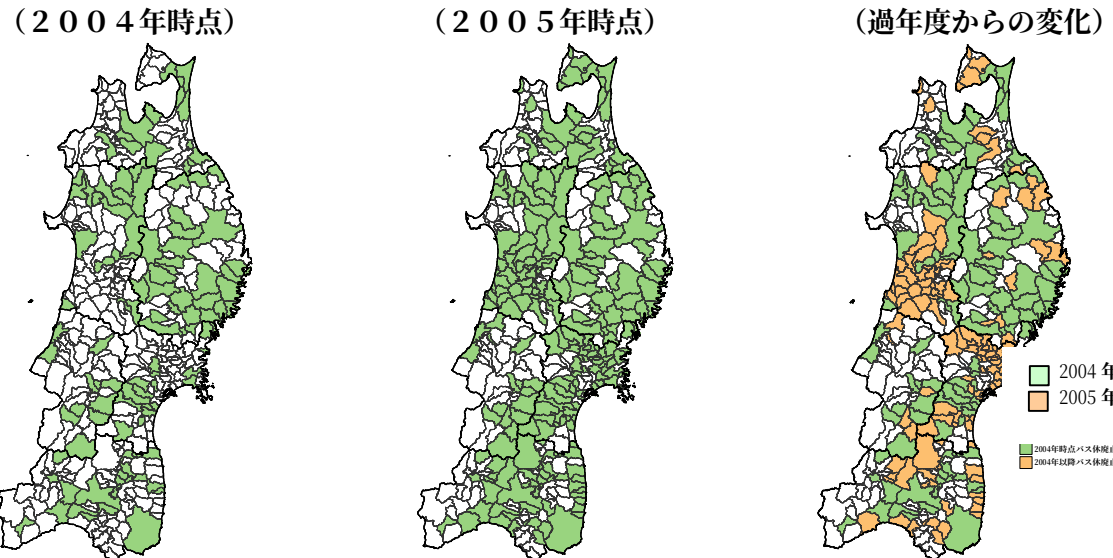


○乗合バスの休廃止

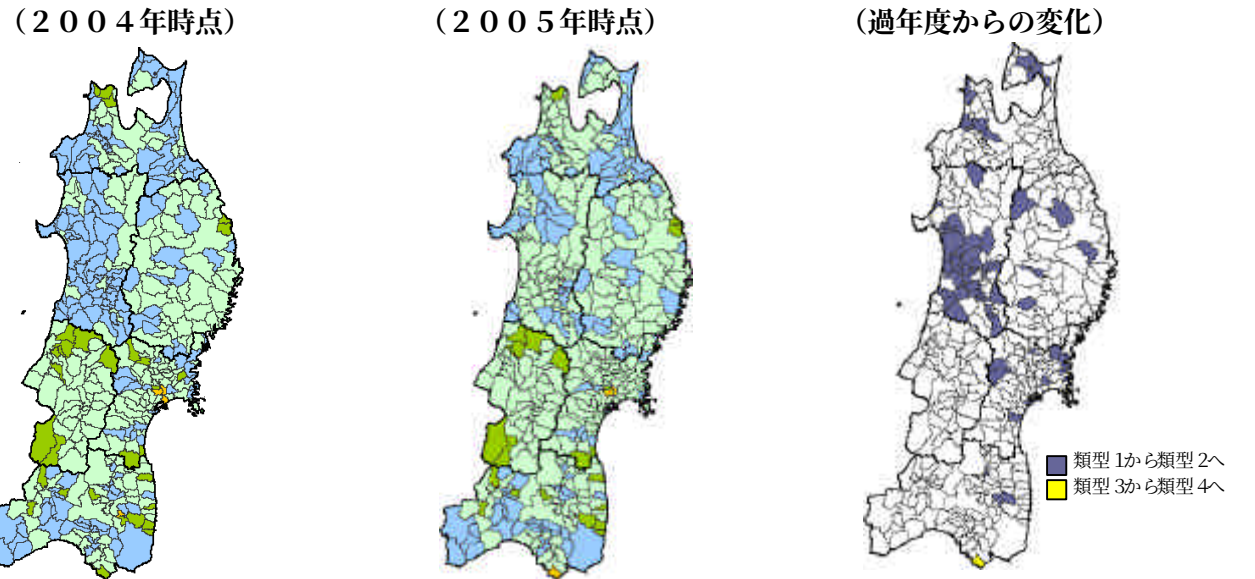
|          | 青森県   | 岩手県   | 宮城県   | 秋田県   | 山形県   | 福島県   | 東北合計  |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2004年    |       |       |       |       |       |       |       |
| 市町村数     | 67    | 58    | 71    | 69    | 44    | 90    | 399   |
| バス退出市町村数 | 14    | 27    | 13    | 17    | 11    | 18    | 100   |
| 退出割合     | 20.9% | 46.6% | 18.3% | 24.6% | 25.0% | 20.0% | 25.1% |
| 2005年    |       |       |       |       |       |       |       |
| 市町村数     | 47    | 52    | 44    | 28    | 38    | 84    | 293   |
| バス退出市町村数 | 16    | 34    | 31    | 16    | 16    | 43    | 156   |
| 退出割合     | 34.0% | 65.4% | 70.5% | 57.1% | 42.1% | 51.2% | 53.2% |

(資料) 東北運輸局

○乗合バスの休廃止状況 (休廃止路線のある市町村)



○バスサービス供給状況



|                               | 青森県 | 岩手県 | 宮城県 | 秋田県 | 山形県 | 福島県 | 東北合計 | 東北割合  |
|-------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-------|
| 2004年                         |     |     |     |     |     |     |      |       |
| 類型1: 乗合バスが運行                  | 42  | 16  | 20  | 55  | 0   | 39  | 172  | 43.1% |
| 類型2: 乗合バス及びその他のバスが運行          | 22  | 40  | 42  | 14  | 35  | 39  | 192  | 48.1% |
| 類型3: その他のバスが運行                | 3   | 2   | 6   | 0   | 9   | 11  | 31   | 7.8%  |
| 類型4: 乗合バス、その他のバス」のどちらも運行していない | 0   | 0   | 3   | 0   | 0   | 1   | 4    | 1.0%  |
| 2005年                         |     |     |     |     |     |     |      |       |
| 類型1: 乗合バスが運行                  | 28  | 13  | 11  | 14  | 0   | 34  | 100  | 35.3% |
| 類型2: 乗合バス及びその他のバスが運行          | 18  | 37  | 28  | 4   | 31  | 40  | 158  | 55.8% |
| 類型3: その他のバスが運行                | 1   | 2   | 3   | 0   | 7   | 9   | 22   | 7.8%  |
| 類型4: 乗合バス、その他のバス」のどちらも運行していない | 0   | 0   | 2   | 0   | 0   | 1   | 3    | 1.1%  |

注1: 乗合バス」は、道路運送法第4条に基づき一般乗合旅客自動車運送事業の許可を受けて運行しているもの

注2: その他のバス」は、

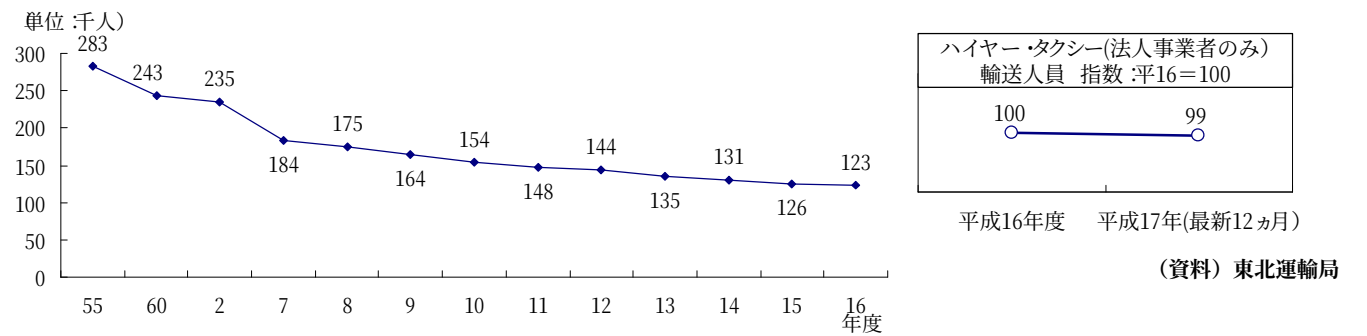
① 道路運送法第21条に基づく乗合許可を受けた一般貸切旅客運送事業者による運送

② 道路運送法第80条に基づく有償運送の許可を受けた自家用自動車による運送

※従って、地方公共団体が運行する無料バス等は含まない。

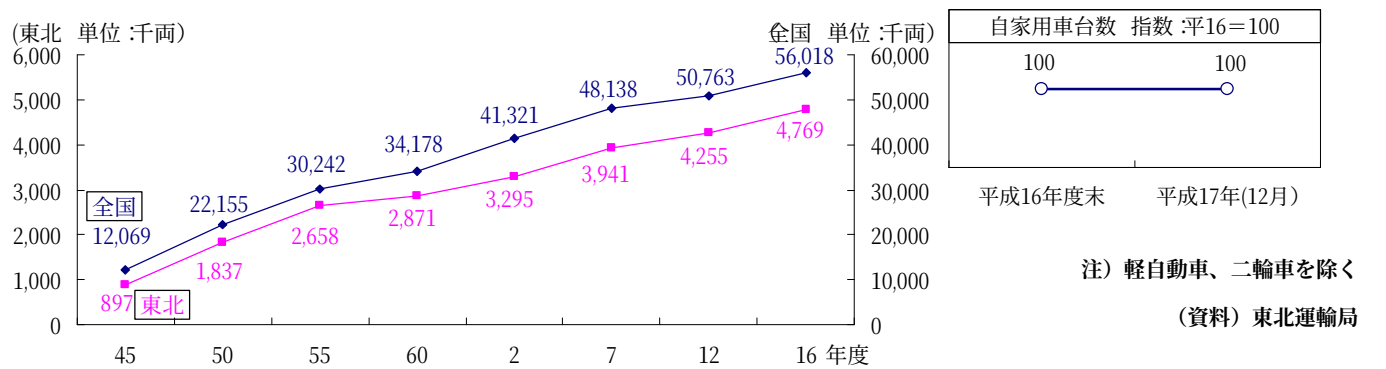
(資料) 東北運輸局

【図表2－7 ハイヤー・タクシー】



(資料) 東北運輸局

【図表2－8 自家用車台数の推移】



注) 軽自動車、二輪車を除く

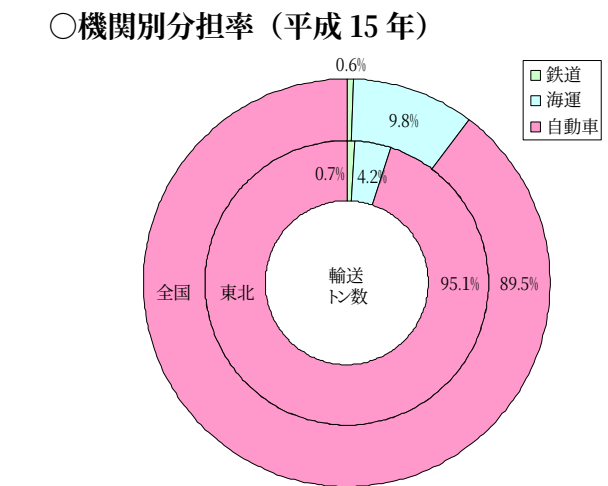
(資料) 東北運輸局

# 貨物輸送の動向

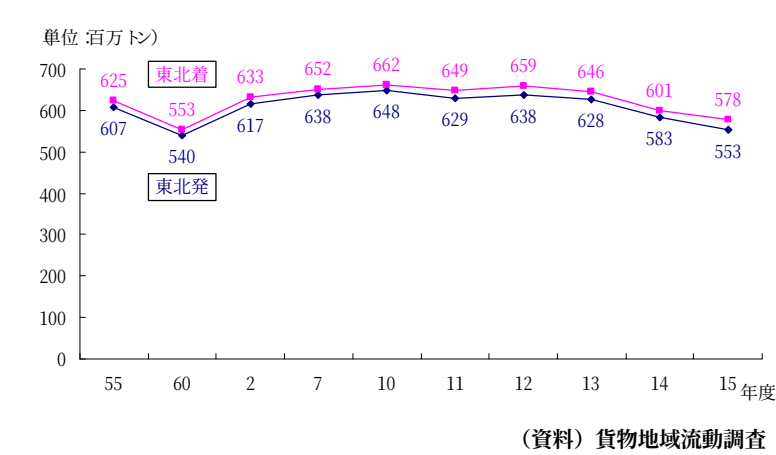
「自動車への強い依存傾向、外貿における自地域内港湾利用率が低い」

- 東北地方では、トン数ベースで見ると、自動車分担率が 95%と非常に高く、海運の割合が低い。また、輸送量は減少傾向にある。(図表 3－1)
- 自動車貨物のトンキロベースでは増加傾向にあり、また、ここ 1 年で特別積合せトラック、宅配貨物の輸送量が増加傾向にある。(図表 3－2)
- 鉄道貨物については、横ばい傾向にある。(図表 3－3)
- 港湾運送取扱貨物量は横ばいから増加傾向にあり、ここ 1 年で内航、外貿ともにコンテナ取扱量が増加しているが、自地域内の港湾における外貿コンテナ貨物取扱量が非常に低く、地域外他港を利用している傾向が強い。(図表 3－4)

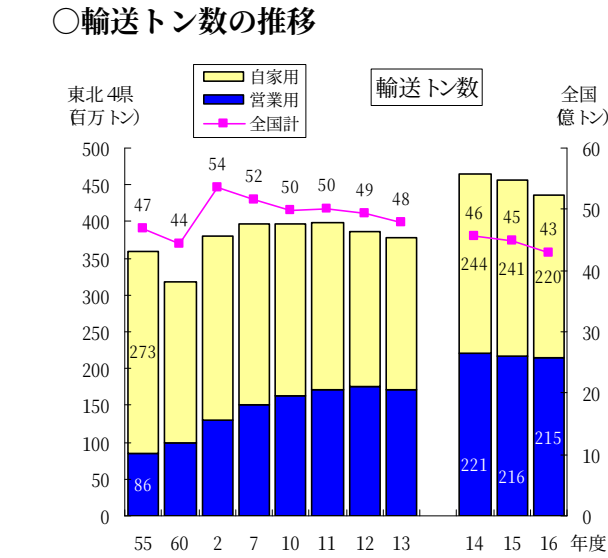
【図表 3－1 貨物輸送（東北全般）】



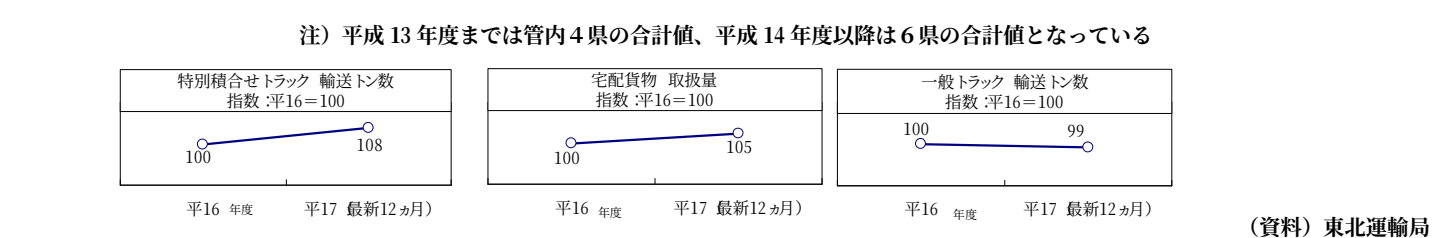
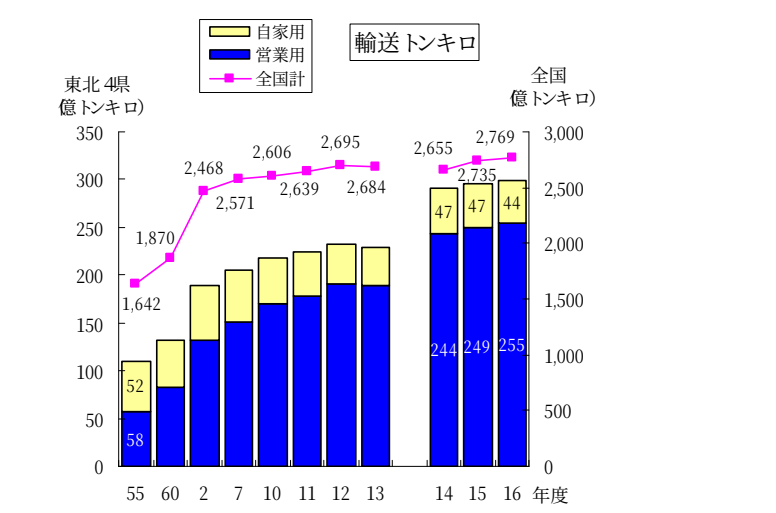
○輸送量の推移



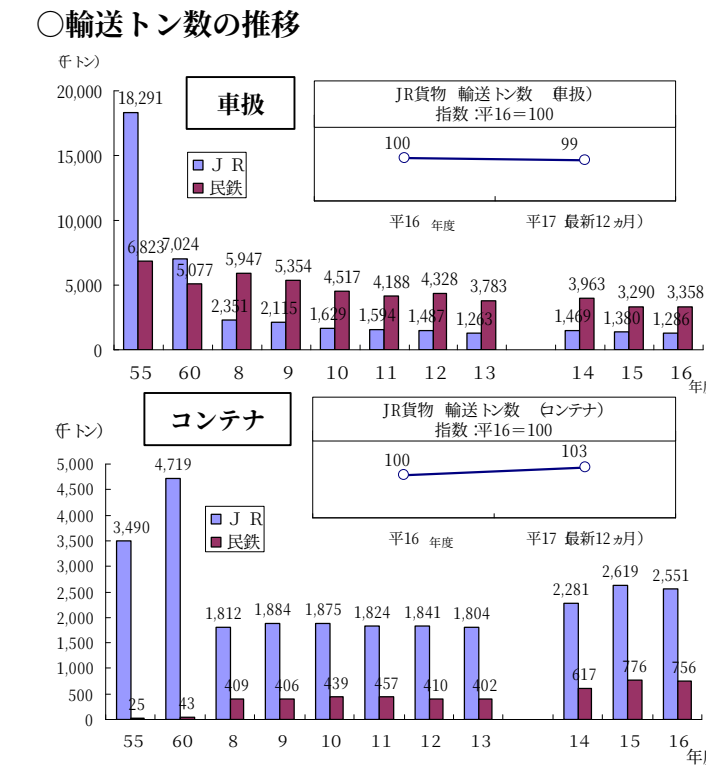
【図表 3－2 自動車貨物】



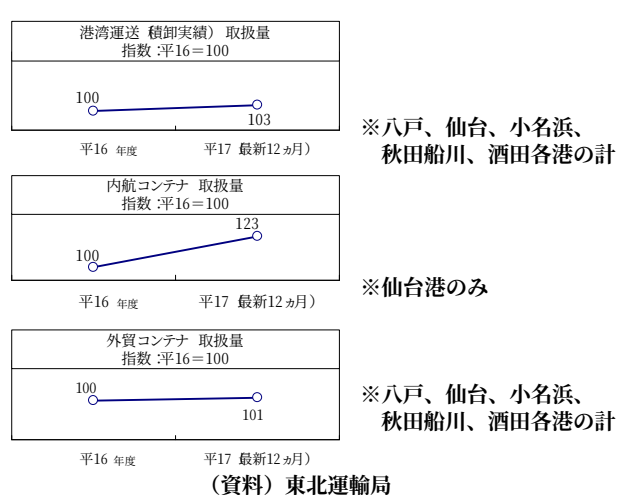
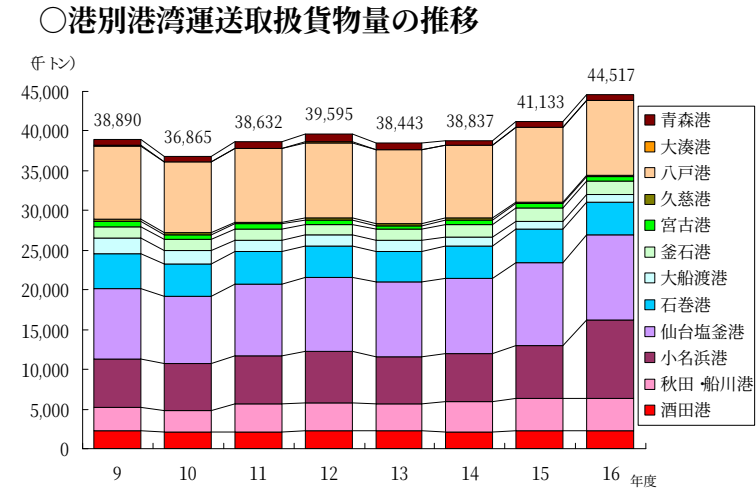
○輸送トンキロの推移



【図表 3－3 鉄道貨物】



【図表 3－4 港湾貨物】





環境・バリアフリーの動向

「環境に関しては、低公害車の導入状況が増加傾向にあるもの、全国平均に比べると低水準」

「バリアフリーに関しては、全国に比べ未だ低水準だが、基本構想策定都市が増加するなど、進展しつつある」

○低公害車の普及率は増加傾向だが、全国と比較すると低水準である。（図表４－１）

○CNG車台数は増加しているものの、CNG燃料スタンド数が極めて少なく、平成16年度末の5箇所から増えていない。（図表４－２、４－３）

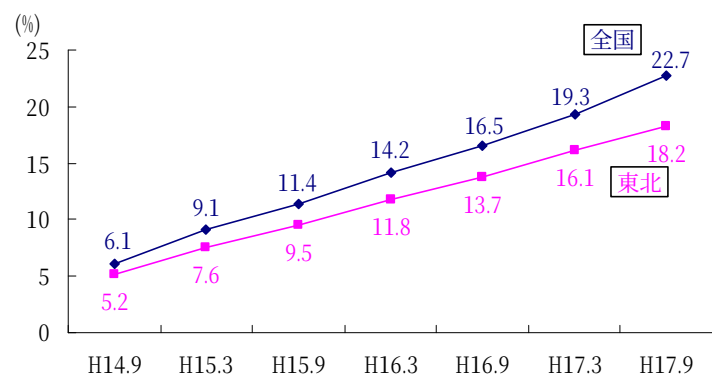
○乗合バスのバリアフリー化は、近年進展しているものの、全国と比較すると低水準である。（図表４－４）

○鉄道駅では、段差解消率が全国よりも上回っている。身体障害者用トイレの整備については、平成16年度までは全国よりも下回っているが、現在、着実に整備が進められている。（図表４－５）

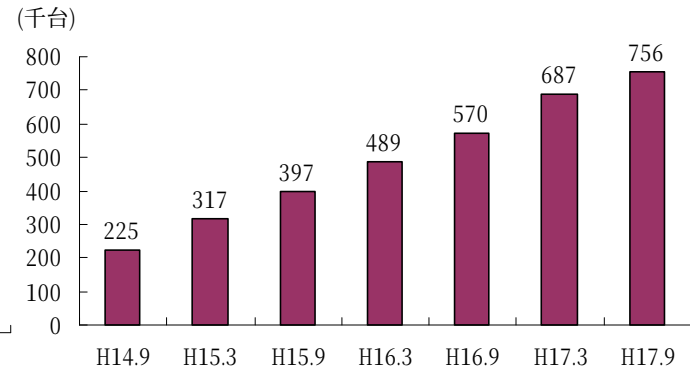
○交通バリアフリー法に基づく基本構想の策定都市は、平成16年度当初では0市であったが、平成17年度当初で9市となった。（図表４－６）

【図表４－１ 低公害車普及状況】

○低公害車普及率の推移



○低公害車台数の推移



（資料）東北運輸局

【図表４－２ CNG車導入台数】

| 導入台数    | 青森 | 岩手 | 宮城  | 秋田 | 山形 | 福島 | 東北            | 全国     |
|---------|----|----|-----|----|----|----|---------------|--------|
| 平成15年度末 | 0  | 0  | 133 | 3  | 1  | 5  | 142<br>(0.9%) | 15,252 |
| 平成16年度末 | 0  | 1  | 187 | 3  | 3  | 11 | 205<br>(1.2%) | 17,381 |
| 平成17年9月 | 0  | 0  | 195 | 3  | 3  | 13 | 214<br>(1.2%) | 18,118 |

（資料）東北運輸局

【図表４－３ CNG燃料スタンドの設置状況】

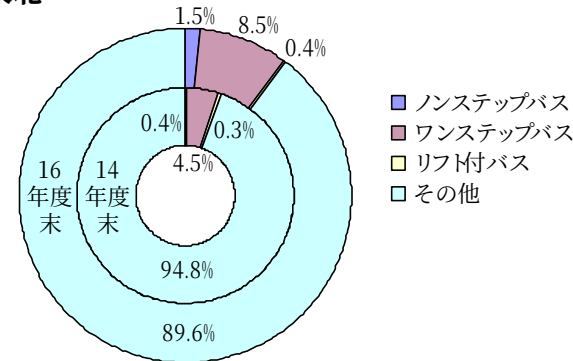
（平成17年12月31日現在）

|                  | 北海道 | 東北 | 関東  | 東海・北陸 | 近畿  | 中国・四国 | 九州 | 合計  |
|------------------|-----|----|-----|-------|-----|-------|----|-----|
| CNG燃料スタンド数（箇所）   | 8   | 5  | 121 | 57    | 69  | 14    | 18 | 292 |
| 昇圧供給装置（小型充填機）（台） | 5   | 12 | 272 | 155   | 180 | 29    | 33 | 686 |

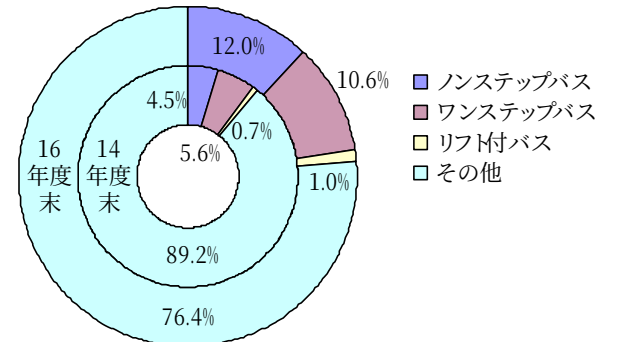
（資料）（社）日本ガス協会

【図表４－４ 乗合バスのバリアフリー化の現状（平成16年度末時点）】

○東北



○全国



総車両数： 14年度末5,183台 ⇒ 16年度末5,068台

バリアフリー化車両

14年度末 268台 (5.2%) ⇒ 16年度末 524台 (10.3%)

総車両数： 14年度末57,992台 ⇒ 16年度末58,197台

バリアフリー化車両

14年度末 6,274台 (10.8%) ⇒ 16年度末 13,749台 (23.6%)

（資料）東北運輸局

【図表４－５ 鉄道駅におけるバリアフリー化の現状（平成16年度末）】

|      | 1日の利用者が5千人以上の駅 | 段差の解消駅数 | 割合 (%) | 身体障害者用トイレの設置駅数 | 割合 (%) |
|------|----------------|---------|--------|----------------|--------|
| 青森県  | 3              | 2       | 66.7   | 2              | 66.7   |
| 岩手県  | 7              | 1       | 14.3   | 3              | 42.9   |
| 宮城県  | 47             | 31      | 66.0   | 5              | 10.6   |
| 秋田県  | 1              | 0       | 0.0    | 0              | 0.0    |
| 山形県  | 1              | 0       | 0.0    | 0              | 0.0    |
| 福島県  | 7              | 2       | 28.6   | 0              | 0.0    |
| 東北管内 | 66             | 36      | 54.5   | 10             | 15.2   |
| 全国   | 2,758          | 1,343   | 48.7   | 858            | 31.1   |

注）「段差の解消」、「身体障害者用トイレの設置」駅数については、交通バリアフリー法に基づく移動円滑化基準に適合したものををもって算定。

（資料）東北運輸局

【図表４－６ 交通バリアフリー法に基づく基本構想の策定状況（平成17年3月31日現在）】

|     | 策定した市町村   |           |                      | 時期は未定であるが、作成<br>する予定のある市町村 | 5千人以上の駅がある市町村<br>で策定予定のない市町村 |
|-----|-----------|-----------|----------------------|----------------------------|------------------------------|
|     | H16.3 末現在 | H17.3 末現在 |                      |                            |                              |
| 青森県 | 0         | 1         | 青森市                  | 7                          | 1                            |
| 岩手県 | 0         | 2         | 盛岡市<br>一関市           | 6                          | 3                            |
| 宮城県 | 0         | 1         | 仙台市（3）               | 16                         | 5                            |
| 秋田県 | 0         | 1         | 秋田市                  | 6                          | 0                            |
| 山形県 | 0         | 1         | 南陽市                  | 9                          | 0                            |
| 福島県 | 0         | 3         | 会津若松市<br>いわき市<br>福島市 | 5                          | 1                            |
| 合計  | 0         | 9（11）     |                      | 49                         | 10                           |

注：仙台市は①仙台駅周辺地区（仙台駅、あおば通駅）、②仙台都心地区（勾当台公園駅、広瀬通駅、北四番町駅、五橋駅）  
③泉中央・長町地区（地下鉄泉中央駅、JR長町駅、地下鉄長町駅、長町一丁目駅、長町南駅）の基本構想を策定。

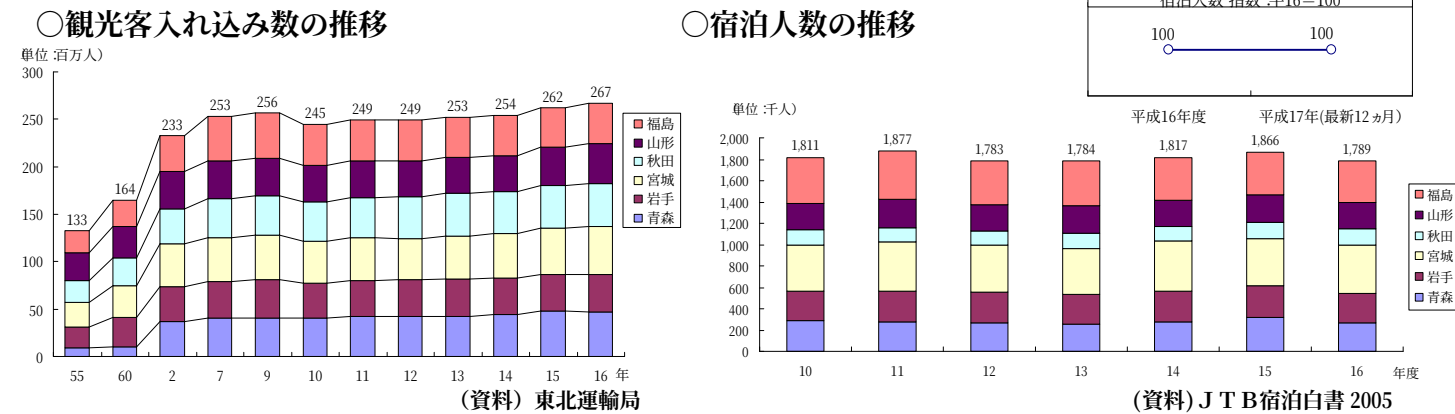
（資料）東北運輸局

# 観光の動向

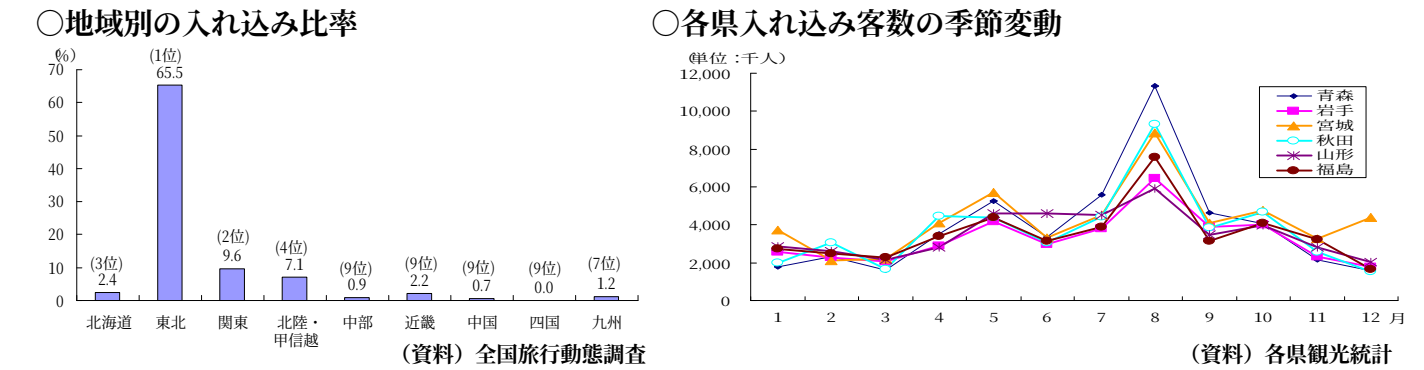
「東北全体では近年入れ込み数が増加傾向、ただし訪日外客の訪問率が低い」

- 観光客入れ込み数は近年増加傾向にあるが、宿泊人数は横ばいである。(図表5-1)
- 東北への観光は関東以北からの入れ込みがほとんどである。また、各県の入れ込み客数は夏に多く、冬に少ない。(図表5-2)
- 全国の訪日外国人旅行者数は年々増加し、平成17年(2005年)に673万人と過去最高に達することが予想されている。国籍別にみると、韓国、台湾をはじめとしたアジア諸国の比率が高い。(図表5-3、5-4)
- 東北地方における外国人旅行者については、依然として訪問率が4%程度と低いものの、その数は増加傾向にある。訪問者の国籍は、全国の傾向と同様に、韓国、台湾をはじめとしたアジア諸国の比率が高い。(図表5-5)

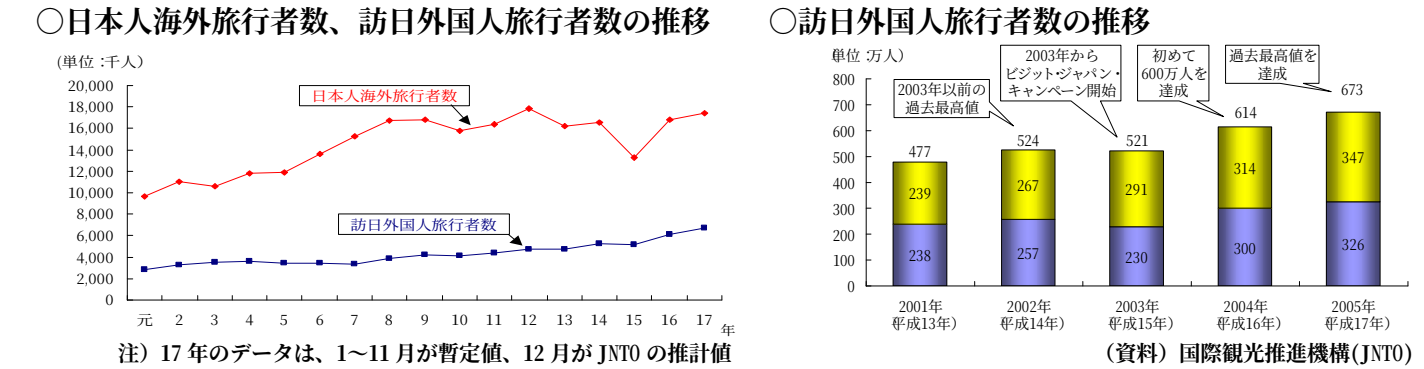
【図表5-1 観光客入れ込み数・宿泊人数】



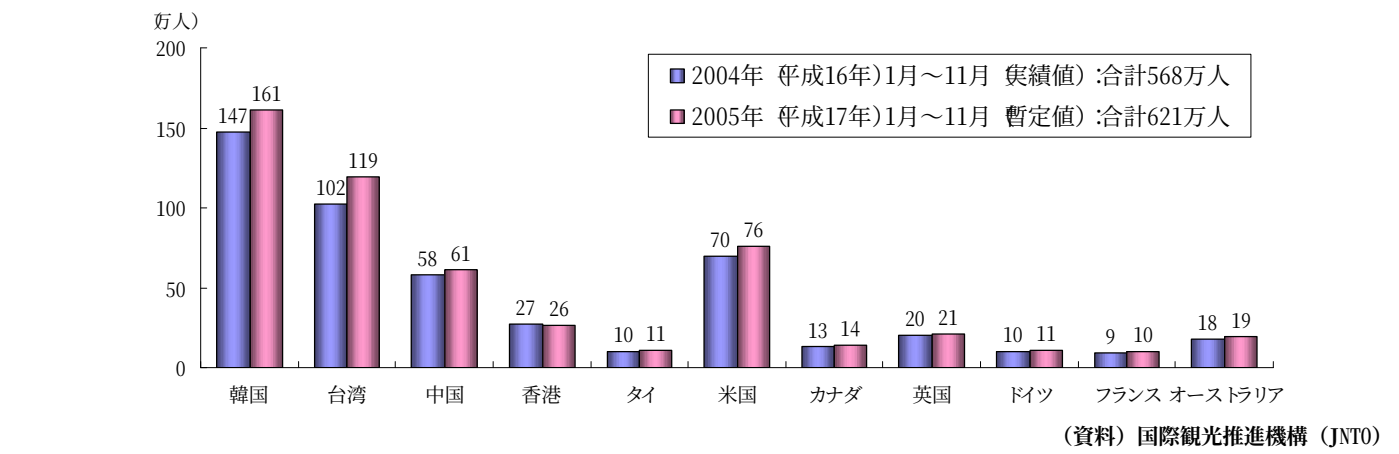
【図表5-2 地域別入れ込み数・季節変動】



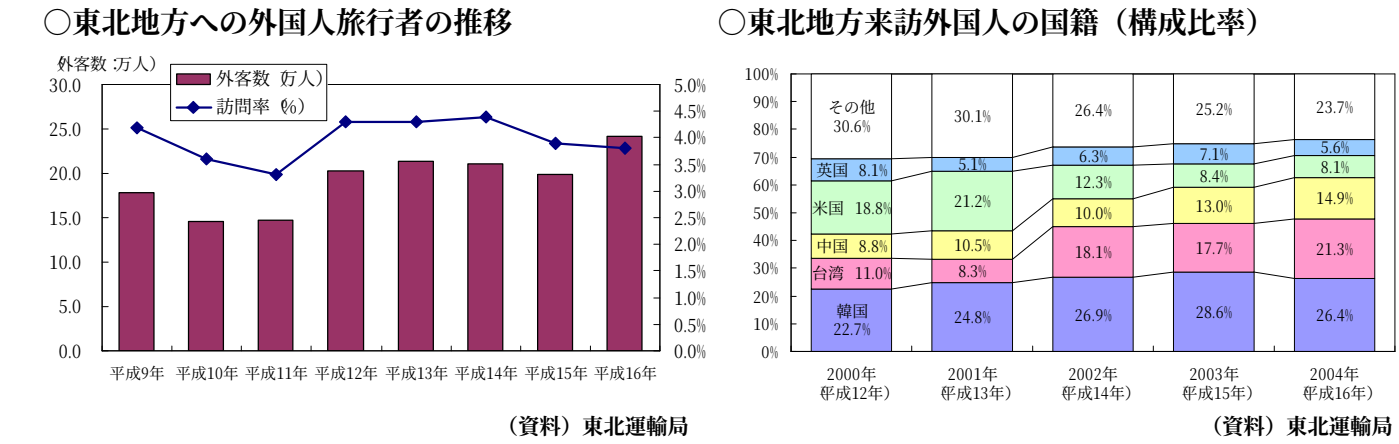
【図表5-3 全国の訪日外国人旅行者数】



【図表5-4 全国の国籍別訪日外客数】



【図表5-5 訪日外国人旅行者の東北地方への訪問状況】



○東北地方各空港からの入国者数

| 空港   | 15     | 16     | 17【～11月】 |           |
|------|--------|--------|----------|-----------|
|      |        |        | 入国者数     | 前年同期間との伸率 |
| 青森   | 17,358 | 29,752 | -        | -         |
| 三沢   | -      | -      | -        | -         |
| 花巻   | 3,154  | 5,572  | 8,290    | 63.8%     |
| 仙台   | 36,586 | 44,302 | 39,390   | -0.6%     |
| 秋田   | 3,590  | 5,306  | 9,480    | 78.1%     |
| 大館能代 | -      | -      | -        | -         |
| 庄内   | 140    | -      | -        | -         |
| 山形   | -      | 47     | -        | -         |
| 福島   | 6,439  | 8,931  | 9,725    | 13.9%     |
| 合計   | 67,267 | 93,910 | 66,885   | 4.3%      |

資料) 15、16(年度): 各県調べ

17年: 作成: 国際観光振興機構(JNTO)/出典: 法務省

○各県の外国人観光客宿泊者数

| 県名  | 年度 | 14年度    |     | 15年度   |     | 16年度   |     | 17年度   |     | 備考   |
|-----|----|---------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|------|
|     |    | 旅行者数    | 指数  | 旅行者数   | 指数  | 旅行者数   | 指数  | 旅行者数   | 指数  |      |
| 青森県 |    | -       | -   | -      | -   | 40,212 | -   | -      | -   |      |
| 岩手県 |    | 57,920  | 100 | 59,374 | 103 | 78,293 | 135 | -      | -   | ※入込数 |
| 宮城県 |    | 107,910 | 100 | 91,868 | 85  | 93,621 | 87  | -      | -   |      |
| 秋田県 |    | 18,883  | 100 | 19,320 | 102 | 23,264 | 123 | -      | -   |      |
| 山形県 |    | 17,559  | 100 | 20,173 | 115 | 23,265 | 132 | 31,241 | 178 | ※入込数 |
| 福島県 |    | 24,548  | 100 | 20,667 | 84  | 36,241 | 148 | 42,955 | 175 |      |

注: 山形県は、主要施設からの聞き取り調査による

(資料) 各県観光統計